今年度より、小千谷頭首工の改修工事に着手

～ 今年度は仮設工事(仮締切堤防の造成)を実施、頭首工本体工事は令和２年度から ～

当事業所では、今年度、小千谷頭首工の改修工事に着手し、令和４年度の完成を目指しています。

今年度は頭首工本体の工事に先立ち、頭首工の前面に「仮締切堤防（かりしめきりていぼう）」を造成する仮設工事を行っています。この仮締切堤防は信濃川本川に令和４年度まで存置されるため、洪水時に河川水位を上昇させることがあってはいけません。この対策として対岸（右岸側）の堆積土砂をあらかじめ掘削（以降「河岸掘削」とする）することにより、必要な河道を確保することとしています。

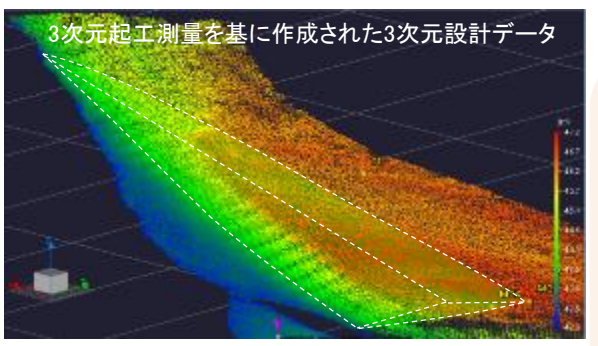
なお、これらの工事は信濃川本川の堤防の開削を伴うことから、国土交通省北陸地方整備局（信濃川河川事務所）への支出委任工事（農水省の予算を国交省の予算に振り替えて行う工事）により実施しています。

【 左岸側 】仮締切堤防の造成工事を実施！！

左岸側で行っている仮締切堤防の工事は、まず、鋼矢板を設置する場所に施工機械が近づけるように頭首工の前面に盛土をして足場を造ります（上写真参照）。そのあと、施工機械で鋼矢板を二重に打ち込み、鋼矢板の間に右岸側の掘削土砂等を中詰めして、仮締切堤防を完成させます。

仮締切堤防は令和４年度の工事完了まで河川堤防の役割を果たすため、高さは現堤防と概ね同じ高さを確保し、幅員は工事施工に必要な幅12m（現堤防は7.5m）としています。

なお、4月上旬から8月末までの農業用水の取水時には開口部を設けて、用水の取水に影響の無いようにします。



【 右岸側 】ＩＣＴを活用した土砂掘削の工事を実施！！

小千谷頭首工の対岸(右岸側)の河岸掘削においては、ICT(情報通信技術)を活用した機械で工事を実施しています。

具体的には、①工事着手前に河岸掘削範囲を把握するため、地上型レーザスキャナーを用いて3次元地形測量を行っています。②次にこの測量成果、設計図書（平面図、横断図）等を基に3次元設計データを作成します。③バックホウを用いた河岸掘削においては、衛星から位置情報を取得するとともに、バケット(刃先)に付けた角度センサー等の情報から効率的に掘削を行っています。また、掘削している最中においても、②の３次元設計データを作業モニターに映し、リアルタイムで確認しながら施工することが可能となっています。

三古の水だより

〈発刊所〉
信濃川左岸流域
農業水利事業所
〒940-0082
新潟県長岡市千歳
1丁目3番88号
(長岡地方合同庁舎6F)
TEL：0258-31-1011
Fax：0258-37-0215

「三古の水だより」とは？

北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所が発刊する広報誌です。題字になっている「三古」とは、前歴事業（一期事業）信濃川左岸農業水利事業の原形である昭和20年に樹立した「三古用水改良事業計画」から引用した言葉です。

ちなみに、「三古」は三島郡の「三」と古志郡の「古」より出た本地区を表すものです。

また、当地区は、三度目の国営事業ということもあり、「三」にとても縁が深い地区としてこの題字としました。

開水路工事の実施状況

今年度の開水路工事は、３つの幹線用水路において４つの改修工事を実施しております。今年の冬は雪が非常に少ないこともあり、工事は順調に進んでおり、予定どおり３月末に完成する見込みです。また、昨年度に改修工事を行った幹線用水路区間については、ガードパイプなどの転落防止施設等をこの２月から順次設置する予定です。工事現場周辺の住民や農家の方々におかれましては、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。以下に実施中の工事をご紹介します。

【実施中の工事の紹介】４号幹線用水路池津工区その２工事（小千谷市片貝町）

本工事では、ブロック張りの台形水路からＬ型擁壁水路(写真参照)に改修する工事を行っています。

通常、Ｌ型擁壁水路を設置する場合、大型クレーンで擁壁水路を吊り上げながら設置していきますが、本工事範囲には高圧送電線や関越自動車道と交差している区間があります。このため、大型クレーンに替わって、Ｌ型擁壁水路を水路内で運搬・設置するリフトローラを活用しています。道路橋や送電線の下でも安全かつ確実に工事を進めることができます。

リフトローラ全景

リフトローラ移動状況

工事着手前（令和元年9月末時点）

工事施工状況（令和2年1月末時点）

Ｌ型擁壁水路　設置全景

受益者へのアンケートを実施

本事業では、過去に整備した水利施設の改修・補修等の工事と併せて、受益地内の農地集積を進めることとしています。

このため、受益地内の農家の皆様にアンケートを実施し、農業の現状や課題、今後の農業経営の意向などについてお聞きしました。

アンケートにご協力いただきました方々に感謝申し上げます。アンケートの集計結果については、次回以降の「三古の水だより」で紹介していきたいと考えています。

【 受益者アンケートの回答状況 】

		全体	長岡市	小千谷市
担い手	対象者数	285	242	43
	返送者数	255	221	34
	回収率（%）	89.5	91.3	79.1
その他経営体	対象者数	144	144	―
	返送者数	113	113	―
	回収率（%）	78.5	78.5	―

※「担い手」とは、人・農地プランにおける「中心経営体」の方を指します。

※「その他経営体」とは、担い手以外の産業経営体で、担い手以外の方の意見・意向を把握するため、抽出調査を実施しました。

【 受益者アンケートの概要 】

○実施時期：
令和元年10月

○実施方法：
郵送方式

○アンケート内容：
・現在の農業経営について
・農地・水管理等について
・今後の農業経営について
・園芸作物について
・地域農業について

農地利用集積調整委員会を開催

令和2年2月6日（木）、信濃川左岸土地改良区会議室において「農地利用集積調整委員会」を開催いたしました。

当委員会は、代表農家・県・市・土地改良区・JA・県農林公社・国で構成され、農地集積の促進や園芸作物の振興に係る検討を行っています。

今回の委員会においては、上記の受益者アンケートの結果を示しながら、信濃川左岸エリアでの農業の課題を議論するとともに、意見交換を行いました。

また、構成員から各種取組等の報告があり、新潟県長岡地域振興局からは、昨年策定された「園芸振興基本戦略」についての報告が、長岡市・小千谷市からは「人・農地プラン」の見直しに関する報告がありました。

今後も、関係機関が集まるこの場で情報共有を図りつつ、信濃川左岸エリアの農業の発展につなげていきたいと思います。